

皆さんこんにちは！ 今月のご報告をさせていただきます。

4月下旬に家族でニュージーランドから日本へ移住することになりました。

ニュージーランドで生活して5年半、サポートワーカーとして仕事をし、私生活では結婚、出産、子育て、色々な経験をしました。

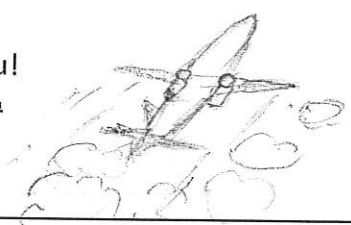
壮大な緑に囲まれ、穏やかさと活気をどちらも持ち合わせたダニーデンでの生活は特別なものでした。その中でも人との出会いが一番の宝物、そしてこれからも自分の力になってくれるものだと思います。

日本の水際対策措置も徐々に緩まり、条件にあてはまれば(ニュージーランドからの場合、ワクチン3回目追加接種をしている場合)入国後の自宅待機も求められないことになっています。

帰国後はまた緑樹会でお世話になります。皆さんに教えていただきながら、また今までの経験を活かしながらがんばりたいと思います。

今回は、もうすぐ2歳になる息子と一緒に皆さんにお会いできるのを楽しみにしています。家族ともどもどうぞよろしく願いいたします。

それではまた来月。See you!  
ブース千尋



昭和レトロコンサート

時代を彩った戦前・戦後のヒット曲の数々をお楽しみ下さい



～日本と海外の音楽ファンタジー～  
GIFT FROM TOKYO

作曲家 吉田正 黄金の都会派メロディ

日時 四月六日(ケアハウス王喜の郷・食堂) 十三時三十分～十五時

「異国の丘」「有楽町で逢いましょう」「いつでも夢を」

四月二十七日(シニアハウス王喜の郷・食堂) 十三時三十分～十五時

懐かしいあの日、あの時の思い出が鮮やかによみがえるコンサートをお楽しみください

【会費】 三〇〇円(お茶代・資料代)

【お問い合わせ】 山根(ミント) 中村(ケアハウス)

「下関の歌あれこれ」～前編～

「魚市から馬関は明けて～♪」現在、この歌詞を見られて、どれだけの方がこの歌をご存じでしょうか。とても懐かしと思われる方もおられると思います。曲名は「下関漁港節」です。現在では考えられませんが、下関市が漁業で最盛期を迎えていた、昭和26年に下関市が制作を依頼して作られた歌です。作曲は「有楽町で逢いましょう」や日本レコード大賞を受賞した「いつでも夢を」を作曲した大作曲家、吉田正です。このように戦前から大陸の玄関口として、戦後は漁業で栄えた下関は多くの歌を制作してレコード化しています。

昭和に入って初めて、下関が歌われたのが昭和5年発売の「馬関小唄」です。世界的名テナーで「ウィーン国際音楽コンクール」で日本人初の銀賞を受賞した奥田良三が歌っていますが、それだけでも力の入れようが感じられます。昭和10年には、当時のスター歌手の松平晃の歌声で関の氏神・亀山八幡宮の春の大祭「五穀祭」を歌った「五穀ばやし」が発売されています。歌詞には下関市の公園第1号「日和山」や当時、賑わっていた細江町の海沿い「山陽の浜」も登場し、「ハッチョハマ ハッチョセ」の囃子言葉も入れられており、当時の賑わいを感じさせます。その他にも、昭和6年に下関の芸者200人の中から選ばれたメ奴と茶目子がレコーディングした「関門小唄」があります。2人を選ぶのに下関の花柳界はメンツをかけて上に下に大騒動になったとの事でビクターレコードのスタジオへは2人の引率として、細江町にある快音堂楽器店の先々代のご主人と一緒に上京しています。

このように全盛期に作られた「下関の歌」について書いているだけでも、当時の活気ある下関が偲ばれて気持ちがわくわくしてきます。私が把握しているだけでも、昭和初期から40年代にかけて30曲近い「下関の歌」があります。この続きは、また次号で筆をとりたいと思います。 ミントの家 山根 徹

たんぽぽ通信

4月1日発行 182号  
ケアハウス王喜の郷 令和4年4月号

ホームページ <http://www.ryokujyukai.jp>

3月21日に理事会と評議員会を行いました。令和4年度の予算と事業計画が承認されました。令和4年度はケアハウス、デイサービスの風呂を改修いたします。ケアハウスの風呂は7月ごろの改修予定ですが、約1ヶ月皆様に不自由をおかけいたします。また秋から冬にかけケアハウス躯体の改修も予定しています。

3月24日(木)にはケアハウスの食堂でニコニコミーティングを持ちました。理事の松本行政書士が「エンディングノートを書く」と題し、法定相続人への依頼、また遺言書の書き方を話させて頂きました。少しずつ身の整理をしていく事が、金銭の問題だけではなく自分を支えてくれた人や物への気づきを促します。これもまたよりよく生きていく事の一つかと思えます。松本理事への相談はいつでもお繋ぎ致します。私ども介護にかかわる仕事をしている者は「人」について、思いもかけない事例をたくさんいただきます。今回は「終わり方」でした。その都度話を聞かせていただいたり、いろんな方に相談したりして道をつけます。今回裏面の事業所たよりでヘルパーがコミュニケーションについて書いております。「人権の尊重」と「コミュニケーションをとる」を常に念頭に置き、今年度も皆様と共にいろいろな問題を解決しつつ生活致しましょう。宜しくご指導ください。

施設長 末谷千秋

4月のお誕生日 & 行事予定

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
					花見弁当 (今日のランチ)	
3	4	5 清明	6 昭和レトロコンサート (ケアハウス)	7	8	9
10	11	12	13 ビューティーヘルパー 理・美容	14	15	16
17	18	19	20 穀雨	21	22	23
24	25	26	27 昭和レトロコ ンサート(シニアハウス)	28	29 昭和の日	30

\*誕生日: お名前記載の方の誕生日です。ささやかなカードとお菓子をプレゼントさせて頂いております。  
 \*\*\*ビューティヘルパー: 出張の理美容です。食堂白板に申込みを貼っています。ご記名ください。  
 \*\*\*\*イズミ行き: 午後1時出発、2時半頃帰着。長府ゆめタウンへの買い物バスです。(月に5回)⇒しばらくお休み。  
 \*\*\*\*\*レトロコンサート: 午後1時半～3時 昔懐かしいレコードやビデオを観たり、歌ったりお茶もあります。  
 ☆第1水曜日はケアハウス食堂・第4水曜日は隣のグループホーム。同じ内容です。参加費300円  
 \*\*\*\*ななの会(習字)はお休みさせていただきます。

## ケアハウス王喜の郷

梅が咲き、菜の花が咲き、桜の花が咲き、…。春が来ました。が、今年の春も新型コロナが終息することも無く、外出もままならない日々です。

私はケアハウスの食堂の掃除をさせて頂いています。8時30分ごろから11時まで換気のために戸を開けたままにさせて頂いています。

暖かい日もありますが、少し肌寒い日もあり、戸を開け閉めする時少し寒いと入居者の方々より「コロナだからしょうがないね。」「お疲れ様。」と声をかけて頂き、皆様のご理解に感謝しています。

まだまだ新型コロナ、気の抜けない日が続きます。手洗い、うがい、消毒、マスク、換気、…。皆で気を付けて乗り越えましょう。



介護職員 橋本万千代

## ケアハウス王喜の郷(厨房)

他の多くの研修生と同じように私の誕生日の最初の日はとても孤独で悲しかったです。ホームシックのためには、よく何よりもがいたく環境での生活や仕事のプレッシャーに慣れることができていません。お言葉や文化については乗りこえられたいと思いましたが、心や企業の借りておくに職場環境に溶け込めませんでした。日本に足を踏み入れるから二年半近く経ちますが皆様の協力のおかげで一人で料理ができるようになりました。勉強と努力で最初は難しかったです。日本語も上達しましたが今では心のコミュニケーションや会話ができておになりました。とても幸せで仕事をしていると楽になり、お仕事には多くの欠点があり、おんなに忙しくても私とみんなが頑張る仕事をこなしていきます。厨房フイテランマン

## 王喜の郷デイサービスセンター

3月14日王喜の郷リモート交流会を行いました。ケアハウスの利用者さんも楽しみにされ、「何時に来たらいい。」「何処であるの」と沢山の人が心待ちにされていました。今回は小学生が自己紹介と竹楽器の演奏を学校で撮影したものをデイサービスのテレビで鑑賞して頂きました。回を増すごとに参加される方も増えました。皆様が鑑賞された様子を写真に撮り、スライドショーにした物を王喜小学校の4年生に届けました。スライドショーを観た小学生より、皆さんの笑顔が見れて嬉しかった。皆さんの笑顔を見て自分の不安な気持ちが晴れましたなど、喜びあふれた手紙を頂きました。又、機会を設けお手紙を紹介させていただきます。



介護職員 石川 ゆかり

## グループホーム王喜の郷

お日様が、段々力強く顔を出し、風はまだ少し冷たいけど、桜の花が咲き、コブシの花も開き、殺風景だった景色が明るく輝き始めました。

グループホームでは、4月初めに木屋川河川公園に桜の花見学に行く予定です。入居者の皆さんに、「近いうちに、桜の花を見に行きますよ」と話したら、「良いねえ、早く行きたいねえ」と言われ、大変楽しみにされています。

まだまだ、新型コロナウイルスの感染拡大が収まっていませんので、予防対策をしっかりと行い、外出機会が少なくなっていますので、この機会にしっかりと楽しんで頂けたらと思っています。

今年度も、皆さんが健康で穏やかに過ごされるよう、しっかりお手伝いさせていただきます。

介護職員 朝倉 一代

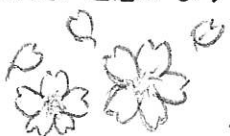
## 王喜の郷居宅介護支援センター

「お薬手帳でケアマネと医療をつなぐキャンペーン」をご存知でしょうか。

皆様が医療機関を受診する時や入院時に必ず内服薬の状況を確認されます。また担当のケアマネを聞かれると思います。そこで、すぐ答えられるように薬手帳にケアマネの名刺を入れさせて頂いています。

私たちが訪問する時に薬手帳を見せて頂きますので、薬局で薬の内容が書かれたシールを受け取られたら貼るようにされて下さい。入院等の時は日頃の生活の様子を医療機関へ伝えます。

主治医と薬剤師と連携を図り、よりよい支援に努めたいと思います。ご協力をお願いいたします。



主任介護支援専門員 野平千加子

## 王喜の郷ホームヘルプステーションいるか

わたしたち職員は、4か月に1回のペースでコミュニケーション研修に参加しています。

利用者の中には聴覚や視覚の機能が低下していたり、うまくコミュニケーションが取れない方もいらっしゃいます。言葉だけではなく、表情や身振り手振り、視線などで相手に安心感を与えられたり、相手との距離を縮めることができます。また、利用者の家族とも日頃からコミュニケーションを取っておくことで、もし何かあった時にすぐに相談でき、早い対応に繋がります。利用者だけでなく、職員同士のコミュニケーションも情報の共有や仕事の連携を取る上でとても重要です。

コミュニケーションは、信頼関係を築くための大切な役割を持ちます。これからも学んだことを意識して良い関係を築いていけるよう努力していきます。

サービス提供責任者 庄山里美

## 王喜の郷ミントの家 シニアハウス王喜の郷

3月21日(月)にのど自慢大会を行いました。事前に唄いたい曲やリクエストを利用者の方にお聞きする中で、「私は皆の前で唄うのは恥ずかしい」「声が出んよ」と言われる方が多く見受けられました。しかし、いざ当日マイクを向けると、一節ずつ唄われ交代される方、一番だけ唄われる方、マイクを離さず、フルコーラス唄われる方と各々美声を響かせておられました。唄い終わると「恥ずかしかった」「こんな機会がないからしてもらえて嬉しかった」「懐かしい曲ばかりで聴くだけでも楽しかった」「もう少し若かったらもっと声が出たのに」といろいろな感想の声が聞かれました。今後も楽しい企画を考えていきたいと思っています。

介護職員 山田 淳美

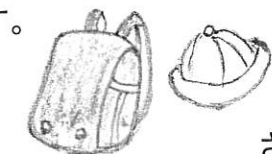
## 放課後等デイサービス さくら

新しい年度が始まりました。

春休みの間に、ひらがなの練習を頑張って上手に書けるようになったり、支援員やお友達と一緒にフェルトで自分の好きなキャラクターや、好きな物を作り上げる子もいて、たくさんの成長を見ることが出来ました。

初めての活動に取り組むのが苦手な子も、好きなキャラクターだと、やってみようという気持ちになり、完成した時には「物を作るのって楽しいですね!」と嬉しそうに話す姿が見られました。

4月は職員と子ども達で、お花見を予定しています。綺麗な桜を見ながら皆でお弁当を食べるのがとても楽しみです。



さくら支援員 森澤 佑衣